

# インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第3回ワークショップの開催概要

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体（施設管理者）のインフラメンテナンスに係るニーズや課題に対し、民間企業のシーズ技術のマッチング等、解決の方向性を模索・検討する場として、**ワークショップ**を開催
- ワークショップには、施設管理者と様々な業種の企業等が参加し、テーマ毎に「施設管理者の課題説明」や「企業等による技術の紹介」「課題解決策の提案」等について、活発なグループ議論が行われました

- 日時：令和2年11月16日（月）13:30～16:30 ■場所：岡山コンベンションセンター（岡山市北区駅元町14-1）
- テーマ：「No.1 ため池の点検に係るコストを軽減できる技術」「No.2 河川管理システムの構築」  
「No.3 日交通量1万台以上でも10年間耐久する白線」「No.4 公園内の仮設トイレへの雨水の活用」
- 出席者：57名（施設管理者：岡山県、岡山市、倉敷市、津山市／民間企業等19社）

## ○開会挨拶



フォーラムリーダー 藤井堅  
(広島大学名誉教授)

## ○講評



メンター 宮本文穂  
(山口大学名誉教授)

## ○閉会挨拶



中国地方整備局 企画部  
事業調整官 藤原 浩幸

## ○グループ討議



▲テーマNo.1：ため池の点検に係るコストを軽減できる技術



▲テーマNo.2：河川管理システムの構築

## ○グループ討議の結果発表



▲テーマNo.3：日交通量1万台以上でも10年間耐久する白線



▲テーマNo.4：公園内の仮設トイレへの雨水の活用

施設管理者が抱える  
維持管理の課題収集



**ワークショップ**  
(施設管理者と企業の  
意見交換会)



ピッチイベント  
(課題を解決する  
技術の提案会)



実用化を検証する  
現場実証試験  
(自治体等フィールド)



マッチング  
(社会実装)

○インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体（施設管理者）のインフラメンテナンスに係るニーズや課題に対し、民間企業のシーズ技術のマッチングの取り組みを実施。

施設管理者が抱える  
維持管理の課題収集



**ワークショップ**  
(施設管理者と企業の  
意見交換会)



ピッチイベント  
(課題を解決する  
技術の提案会)



実用化を検証する  
現場実証試験  
(自治体等フィールド)



**マッチング**  
(社会実装)

## ○ワークショップ

施設管理者から提供されたテーマから参加希望者が多いものを選定。ニーズや課題に対し、民間企業のシーズ技術のマッチング等、解決の方向性を模索・検討する場として、グループ討議形式のワークショップを実施。

## ○施設管理者の感想

- 課題を企業に直接伝えることができ、また、企業から課題解決に向けた様々な提案があり、有意義であった
- 今後、課題解決に繋がる具体的な技術と施設管理者とのマッチングが図られる場があるとよい



## ○ピッチイベント

施設管理者から提供されたテーマに対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する技術提案会を実施。

## ○参加者の感想

- 課題解決のための新技術が幅広く提案され、有意義だった（施設管理者）
- 新技術の採用にあたっての課題を認識することができた（施設管理者）
- 自治体のニーズが明確になっており、解決する技術等を提案しやすい（民間企業）
- 今後、どのように技術を社会実装していくのが課題である（民間企業）
- 実証試験に繋げることができれば、より有意義なものとなる（民間企業）



## ○実証実験

施設管理者から提供されたテーマに対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する実証試験を実施。

## ○参加者の感想

- 各会社の技術や特徴、これまでの実績について、具体的な説明があり、理解しやすかった。今後は各技術について、内部での検討を踏まえ、各社との相談を交えながら、導入に向けた検討を進めていくこととなる。（施設管理者）
- 各技術とも小型化されコンパクトに集約されており、非常に簡単に効率的な維持管理に活用できるのではないかと期待している。施設管理者毎にニーズを再確認し、簡易診断と精密診断の使い分けを行うことや、シーズ技術の改良を行うことで技術導入の促進が図られると思う（講評）



スマートフォンを活用した  
路面調査システム